

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習III		
担当者(Instructors)	深谷 和広	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この演習では、会計情報の基礎知識の学習を通じ企業経営の諸課題を認識し、地域におけるビジネスを通じて、様々な人々と協働し、地域社会の活性化・発展に貢献できる能力を獲得することを目標とします。企業経営における会計情報の意味をさらに深く理解するために、4年前期は企業会計に関する文献研究を進めたいと思います。また4年後期にはこれまでの成果を卒業レポートとして完成させます。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習方式で授業を行う。各授業では、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、主体的な学びのスタイルを身に着ける。学生同士のコミュニケーションを通じて学習効果を高める。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	シラバスをもとに目的と内容、進め方を説明する。	<input type="checkbox"/>
第2回	会計情報に関する研究（1）	テキストを輪読し、会計情報の意味を考える。	<input type="checkbox"/>
第3回	会計情報に関する研究（2）	テキストを輪読し、会計情報の意味を考える。	<input type="checkbox"/>
第4回	会計情報に関する研究（3）	テキストを輪読し、会計情報の意味を考える。	<input type="checkbox"/>
第5回	ディスカッション	テキスト内容を材料として全員で討議する。	<input type="checkbox"/>
第6回	会計情報の論点を探す（1）	会計情報の論点を理解する為、文献収集と論点を整理する。	<input type="checkbox"/>
第7回	会計情報の論点を探す（2）	会計情報の論点を理解する為、文献収集と論点を整理する。	<input type="checkbox"/>
第8回	会計情報の論点を探す（3）	会計情報の論点を理解する為、文献収集と論点を整理する。	<input type="checkbox"/>
第9回	ディスカッション	会計情報の論点を中間報告し、各自のテーマを設定する。	<input type="checkbox"/>
第10回	レポート作成（1）	テーマ設定し、レポートをまとめる。	<input type="checkbox"/>
第11回	レポート作成（2）	テーマ設定し、レポートをまとめる。	<input type="checkbox"/>
第12回	レポート作成（3）	テーマ設定し、レポートをまとめる。	<input type="checkbox"/>
第13回	プレゼンテーション（1）	各自レポート報告し、全員で内容を検討する。	<input type="checkbox"/>
第14回	プレゼンテーション（2）	各自レポート報告し、全員で内容を検討する。	<input type="checkbox"/>
第15回	全体総括	本演習の内容を総括する。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前には課題図書やゼミ活動で必要となる新聞、雑誌、テレビ、ネットなどの情報を主体的に読み破ること（2時間程度）また授業後には、授業内容をまとめてゼミ課題に積極的に取り組むこと（2時間程度）。日ごろから主体的にビジネス関連情報を収集するように心がけることが大切です。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回の授業で取り組んだ内容または課題について、次回の授業内でプレゼンテーションすること、またディスカッションすることを通じて相互にフィードバックを行う。

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018地域ビジネスDP2	簿記会計の構成要素と財務諸表との関係を理解し、説明することができる 経営を財務情報との関係で幅広く思考し、自分の考えを発信することができる

	◇ 2018地域ビジネスDP3	地域におけるビジネスを通じ、多様な人々と協働し、地域社会の活性化に貢献できる
--	-----------------	--

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	0%

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		